

厚生科学研究費補助金

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究に関する研究

(令和)6年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 山崎 聡

(令和)7(2025)年 5月

## 目 次

I. 総括研究報告書	
温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究-----	1
聖マリア病院/山崎 聡	
(資料) 温泉療法と生活の質に関する検討 -前向き観察研究-----	3
II. 分担研究報告書 -----	15
1. 研究統括・日本温泉気候物理医学会との連携	
福岡市立病院機構福岡市民病院病院長/堀内 孝彦	
2. 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究-----	18
神戸市立医療センター中央市民病院/大村 浩一郎	
3. 医中誌Web用RCTフィルター開発の試行-----	20
慶應義塾大学信濃町メディアセンター/遠藤 泉	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	23
IV. 倫理審査等報告書の写し -----	25



厚生労働科学研究費補助金  
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)  
総括研究報告書

温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

研究代表者 山崎 聡 聖マリア病院 血液内科 主任医長

**研究要旨**

生活習慣病・ロコモティブシンドロームに対する温泉療法の有効性を、論文システマティックレビューにより検証、エビデンスに基づく標準的プログラムを開発する。温泉療法論文の包括的評価と「温泉療養指示書」の電子化・前向き観察研究を実施する。成果として、標準プログラム、療法医向け指導書・一般向け啓発資料を作成し、適切な温泉療法の普及と健康増進への貢献を目指す。

林 敬人・鹿児島大学大学院医歯総合研究科・法医学分野・教授  
堀内 孝彦・福岡市立病院機構 福岡市立病院・院長  
北條 達也・同志社大学・スポーツ健康科学部・教授  
前田 豊樹・社会法人 三愛会 介護老人保健施設 たばる・施設長  
松元 秀次・茨城県立医療大学・保健医療学部 医科学センター・教授  
大村 浩一郎・神戸市立医療センター中央市民病院・膠原病・リウマチ内科・部長  
柏戸 佑介・広島赤十字・原爆病院・リウマチ科（膠原病）・医師  
益田 郁子・十条武田リハビリテーション病院・リウマチ科・部長  
眞喜志 まり・慶應義塾大学・医学部・特任助教

**A. 研究目的**

温泉療法による健康増進効果（生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム等身体機能低下の改善等）に関する最新のエビデンスを整理する。利用者毎の健康状態や利用目的（健康増進、リハビリ等）等に合わせた、安全な入浴方法などに配慮した、標準的なプログラム（温泉療養、温泉利用プログラム等）を開発する。

**B. 研究方法**

本研究は、生活習慣病・ロコモティブシンドロームに対する温泉療法の有効性を、論文のシステマティックレビューにより検証し、エビデンスに基づく標準的プログラムを開

発する。温泉療法論文の包括的評価と「温泉療養指示書」の電子化・前向き観察研究を実施する。成果として、標準プログラム、療法医向け指導書・一般向け啓発資料を作成し、適切な温泉療法の普及と健康増進への貢献を目指す。

（倫理面への配慮）

温泉療法指示書の電子化・匿名化データ収集システム構築は終了、「温泉療法と生活の質に関する検討ー前向き観察研究ー」は臨床倫理審査承認済みである。

**C. 研究結果**

7つの疾患（高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満、変形性関節症、フレイル、高尿酸血症）の論文システマティックレビューは終了した。5月24、25日に横浜市で開催される第90回日本温泉気候物理医学会学術総会前の第二回班会議にて、各疾患代表による結果報告を予定している。

温泉療法指示書の電子化・匿名化データ収集システム構築は終了、「温泉療法と生活の質に関する検討ー前向き観察研究ー」は臨床倫理審査承認済み、日本温泉気候物理医学会会員サイトにて Web 説明会の録画動画とともに、関係資料を常時掲載している。4月1日からの症例登録に向けて、温泉利用型健康増進施設を認定している日本健康開発財団から作成済みのチラシを全国 21 施設に配布する委託契約締結済みである。

**D. 考察**

温泉療法に関する研究とその応用を進めるための計画。

行動指針  
2025年  
5月

- **班会議開催**: 5月24日(土)7時45分～30分厳守、横浜商工会議所で開催予定。  
担当疾患の systematic literature review をプレゼン、スケジュールを確認。
- **総説論文の準備**: 各疾患の担当者が総説論文の草案を準備。

6月～9月

- **総説論文の投稿**: 速やかに総説論文を学術雑誌に投稿。
- **温泉療法指示書の手引き作成**: 温泉療法指示書の手引きを作成。
- **パンフレット作製**: 7疾患に関する温泉療法のパンフレットを作成。

10月～12月

- **前向き観察研究の症例集積**: 症例集積を促進し、データ収集を進める。
- **啓蒙活動**: 温泉利用型健康増進施設(21か所)にて温泉療法の効果を啓蒙。

2026年

1月～3月

- **データ分析と論文執筆**: 収集したデータを分析、前向き観察研究の論文を執筆。
- **温泉療法の標準化プログラム開発**: 温泉療法の標準化プログラム開発、施策に直結できる資料を整備。**高齢者に対する「高血圧の温泉療法プログラム」**は九州大学病院別府病院での介入試験で検証済み(論文投稿中)

4月～6月

- **論文の投稿と発表**: 研究成果を学術集会で発表し、前向き観察研究の論文を投稿。

**班会議の継続申請準備**: 次年度の班会議の継続申請の準備。

7月～12月

- **地域医療ネットワークの拡大**: 観察研究でご参加いただいた新たな医療

機関と

ネットワークを構築し、地域医療体制を強化。

- **育成プログラムの開発**: 育成プログラムを開発し、実施。

E. 結論

温泉療法の効果を科学的に検証し、地域医療に貢献することを目的としている。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Yamasaki S, Kashiwado Y, Maeda T, Horiuchi T. Night-time hot spring bathing is associated with improved blood pressure control: A mobile application and paper questionnaire study. PLoS One. 2024 Nov 1;19(11):e0299023.

2. 学会発表

山崎聡. 夜間の温泉利用と血圧変化に関する検討、第89回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会、  
2024年6月1日、和歌山県白浜市、口演

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

試験計画書  
温泉療法と生活の質に関する検討  
－前向き観察研究－

試験責任者名 山崎 聡  
所属機関名 聖マリア病院 血液内科

版番号：第 1.6 版  
作成年月日：2024 年 12 月 9 日

# 目次

## 0. 概要

### 0.1 試験題目

### 0.2 目的 主な目的：温泉療養指示書の実態を把握する

副次目的：温泉療法指示書が、温泉療養により生活の質向上を促進するかどうかを検証する

### 0.3 対象（適格基準・除外基準）

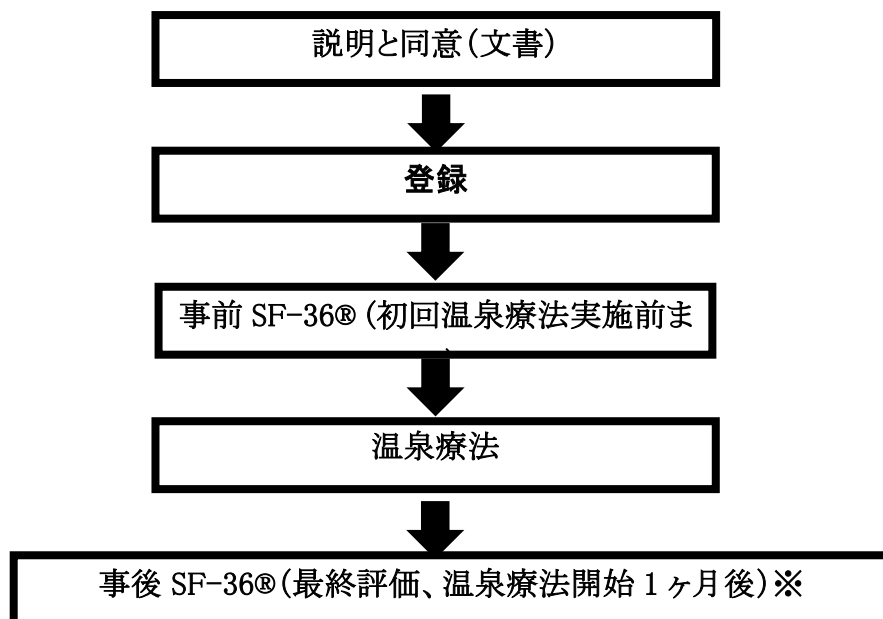
### 0.4 試験のデザイン

### 0.5 評価項目

### 0.6 目標登録症例数

### 0.7 試験期間

### 0.8 シェーマ



※前後 7 日を許容範囲とする

## 1. 試験題目

「温泉療法と生活の質に関する検討－前向き観察研究－」

## 2. 目的

主な目的：温泉療養指示書の実態を把握する

副次目的：温泉療法指示書が、温泉療養により生活の質向上を促進するかどうかを検証する

## 3. 背景と意義

65歳以上の大分県別府市民1万人以上に対するアンケートを実施し、高血圧の既往の少なさに夜間の温泉利用・うつの既往の少なさに毎日の温泉利用が関連していることを見出し論文公開した(1,2)。また、夜間の温泉習慣は慢性ストレスによる睡眠障害の改善につながり高齢者の高血圧予防に有益となっている可能性がある。今回の発見は、温泉の有効な利用により高齢者の高血圧発症の抑制に役立つことが期待される。高血圧の既往の少なさと夜間の温泉利用の関連を証明するためには計画的な無作為比較試験の実施が必要である。検証のために膨大な費用や大規模な研究体制の確立が必要である。

取り掛かりとして、2021年12月から2022年11月まで九州大学病院別府病院 内科に入院され、独歩可能、入院治療の影響が少ない時期に3日以上温泉入浴を利用された患者の温泉入浴の前日朝と翌日朝の血圧の変化を後方視的に確認した。2021年12月から2022年11月まで九州大学病院別府病院 内科に入院された65歳以上の患者240人中、独歩可能、入院治療の影響が少ない時期に3日以上温泉入浴を利用された患者さんの温泉入浴の前日朝と翌日朝の血圧の変化が確認できた99人を解析した。患者を入浴時間で3群、昼(12時から13時)、午後(13時から19時)、夜(19時から20時)に分類した。3群の患者はそれぞれ昼が26人、午後が52人、夜が21人だった。平均年齢は昼が72歳、午後が79歳、夜が78歳と午前中の年齢が若かった。昼23%、午後56%、夜71%が女性だった。収縮期血圧及び拡張期血圧ともに温泉入浴の前日朝と翌日朝の血圧が昼と午後と比較し、夜間の温泉利用のみが有意差をもって低下していることが確認できた(3)。

本態性高血圧症は高血圧症の90%を占めている。血圧上昇の原因は生活習慣(睡眠、食事、運動、ストレス、アルコール、喫煙など)がほとんどである。高血圧治療の目的は心血管疾患と腎臓疾患の予防である。日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン」では、生活習慣の是正+薬物療法+運動療法が推奨されている。高血圧治療者の内、WHO基準140/90mmHg以下の降圧目標に達しているのは男性50%、女性58%に過ぎないとしている。高血圧症は生活習慣病の1つであり、生活習慣の是正により降圧効果があることが知られている。生活習慣の是正のみで目標とする降圧効果が得られることは少ないものの薬物の減量は期待できる。

夜間の温泉入浴に関するモバイルアプリと紙アンケートの使用割合を前向きに評価した。別府市14施設のボランティア1116人(モバイルアプリ562人、紙アンケート556人)が参加した。65歳以上の回答者477名中474名(99.3%)が紙アンケートを使用した。65歳以上の回答者の温泉利用後の収縮期及び拡張期血圧の低下割合は65歳未満の回答者よりも有意に大きかった( $p<0.001$ )。年齢65歳以上、投薬中の高血圧、不整脈、鬱病、塩化物泉の利用が夜間の温泉入浴前後の血圧低下割合と独立して有意な関連が認められた( $p<0.001$ ) (4)。65歳以上の夜間の温泉利用者の睡眠の質と心理社会的状況を検討する臨床第II相試験の結果が期待される。以上の背景をもとに、本態性高血圧症患者において、認容性・有用性のある「高血圧の温泉療法プログラム」を確立する目的で臨床第II相試験を実施した。少数例のパイロット的な検討では

あるが、温泉の有効な利用により高血圧発症の抑制に有効な睡眠の質向上を促進することが確認できた (Yamasaki et al. in submission)。その際、SF-36®※の精神的健康がプログラム導入後、時間経過で改善していることが観察された。

※SF-36® (MOS 36-Item Short-Form Health Survey) は、健康関連 QOL (quality of life) を測定するための尺度で、国際的に普及している。SF-36®は、36 項目の質問から構成されており、身体機能、日常役割機能 (身体)、体の痛み、全体的健康感、活力、社会生活機能、日常役割機能 (精神)、心の健康の 8 つの下位尺度を測定する。下位尺度は 100 点満点でスコア化され、スコアが高いほど QOL が高いことを意味する。また、8 つの下位尺度をもとに、2 つのサマリースコア、「身体的健康」と「精神的健康」を算出することもできる。

SF-36®は、対象者の状態を問わず包括的に QOL を計る包括的尺度であるため、異なる疾病患者間での比較や、健康といわれる方々の健康関連 QOL の測定と比較が可能となっている。また、短時間で回答が可能であるため、治療やケアのアウトカム評価、一般住民の健康調査などのさまざまな目的において使用することができる。

## 4. 試験対象者の選択

### 4.1. 適格基準

以下の基準をすべて満たす症例を本試験の対象とする。

- (1) 温泉療養指示書を発行されたもの
- (2) 本試験計画について十分に理解し、本人による同意が可能なもの
- (3) 質問票に回答の意思があるもの
- (4) 同意取得時における年齢が満 18 歳以上

### 4.2. 除外基準

以下のいずれかに該当する症例は本試験に組み入れないこととする。

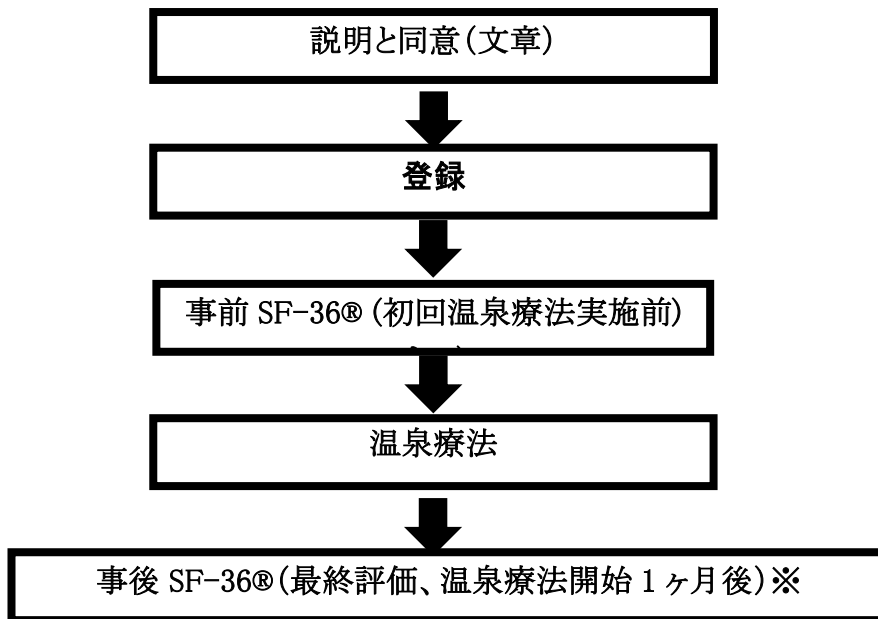
- (1) コントロール不良の高血圧 (収縮期血圧 > 160mmHg)
- (2) 6 か月以内の急性心筋梗塞あるいは深部静脈血栓症や肺塞栓症の既往がある。
- (3) 活動性で進行期の重複癌 (同時性重複癌及び無病期間が 5 年以内の異時性重複癌。ただし、局所治療により治癒と判断された子宮頸部、胃、大腸における Carcinoma in situ 相当の病変は活動性の重複癌に含めない) を有する。
- (4) 認知症など、同意能力が欠如している。
- (5) その他、試験責任者または分担者が本試験に参加することが不相当と判断する。

### 4.3. 中止基準

同意の撤回があった場合

## 5. 試験の方法

### 5.1. 概要



※前後 7 日を許容範囲とする

#### 観察スケジュール

- 1) 登録時 登録後から初回の温泉療法開始までに SF-36®を実施
- 2) 最終効果判定時 温泉療法開始より 1 か月後 に二回目の SF-36®を実施  
前後 7 日は許容する  
増悪または再発、および死亡のイベントがあった場合は、随時報告を行う。

〔取得する情報〕 年齢、性別、匿名化された温泉療養指示書、SF-36®：同意取得後、1 カ月後（最終効果判定）

#### 観察研究

試験対象者登録期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで

総研究期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日まで

### 5.2. 登録の方法

試験についての説明を行った後に、試験対象者が試験の内容をよく理解したことを確認した上で、試験への参加について依頼する。対象者本人が試験に参加することに同意した場合、付表の同意書を用い、説明した医師名、説明を受け同意した氏名、同意を得た日付を記載し、医師対象者各々が署名する。同意文書は二部コピーし、一部は対象者本人に手渡し、一部は施設の研究責任者が保管する。原本はカルテに保管する。

各機関に配布する、電子化した温泉療養指示書の QR コードを発行し入力することで、匿名化された温泉療養指示書（匿名番号、場所、時間を付記）が、株式会社ネオマーケティングより研究責任者へ通知される。

### 5.3. 割付の方法

本試験は前向き観察研究であり、割付は行わない。

#### 5.4. 試験薬の投与方法又は試験機器の使用方法

温泉療養指示書を医師から処方され、温泉利用型健康増進施設で医師の指示に基付き治療のため温泉療法※を行った場合及び指定運動療法施設で医師の処方に基付き運動療法を実施する。

##### ※温泉療法

温泉療法とは、温泉療法医が温泉・気候・物理療養を指導することである。温泉療法医は、日本温泉気候物理医学会の教育研修会を全課程修了し、入会年より3年後に認定を受けた医師である。認定後も5年ごとに更新が必要で、5単位が必要である。

温泉療法医は、温泉利用型健康増進施設を利用する際に温泉療養指示書を作成する。温泉療養指示書には、温泉を利用することで治療効果が期待できると診断した内容や、入浴方法、食事・運動療法などのプログラムが記載されている。

温泉利用型健康増進施設では、温泉利用指導者資格を持ったスタッフが医師の指示書に従って入浴指導や安全管理、応急処置、生活指導などを行う。温泉療法そのものは保険適用されていないが、温泉治療のために温泉利用型健康増進施設を利用する場合は医療費控除の対象となる。

#### 6. スケジュールと試験期間

##### 観察スケジュール

1) 登録時 登録後から初回の温泉療法開始までに SF-36®を実施

※受診時に記載依頼しその場で調査票回収。2回目の SF-36®を対象者に手交し1か月後（前後7日）の記載を依頼する。

2) 最終効果判定時 温泉療法開始より1か月後に2回目の SF-36®を実施

※対象者が所得税控除のための証明書を受け取りの来院時に、記載済みの SF-36®を回収する。

前後7日は許容する

増悪または再発、および死亡のイベントがあった場合は、随時報告を行う。

〔取得する情報〕 年齢、性別、匿名化された温泉療養指示書、SF-36®：同意取得後、1か月後（最終効果判定）

〔試験のデザイン〕 前向き観察研究

試験対象者登録期間：2025年4月1日～2026年3月31日まで

総研究期間：2025年4月1日～2026年12月31日まで

#### 7. 試験実施後の対応

後治療についての規定はない。

#### 8. 評価項目

主要評価項目として、温泉療養指示書の実態を把握する

副次評価項目として、温泉療法指示書が、温泉療養により生活の質向上を促進するかどうかを検証する(SF-36®の精神的健康はじめ8項目の温泉療法後の変化を確認する)。温泉療法の内容の違いによるSF-36®の結果を検討する。  
加えて、温泉療養指示書の改善を検証する。

## 9. 試験対象者にとっての経済的負担あるいは謝礼等

本試験は一定の条件の下、施設利用料が所得税法第73条に規定される医療費控除の対象となる。なお、自己負担分が発生する場合には試験対象者が負担をする。謝礼はない。

## 10. 予期される利益と不利益

### 10.1. 本試験により予期される利益

本試験に参加することにより直接受ける利益はない。温泉療法による生活の見直しをすることで睡眠(夜間の温泉利用)、食事、運動、ストレス、アルコール、喫煙などの生活習慣の見直しをめざす。この試験により温泉利用の意義が明らかになる可能性がある。すべて温泉法が定めた適応内で行う。

### 10.2. 本試験により予期される不利益

#### 10.2.1 侵襲等の負担の内容

本試験に参加することにより時間的負担(アンケートの所要時間)がある。アンケートの回答時間・最長で10分程度と予想している。

#### 10.2.2. 起こりうる副作用等

温泉療法による副作用として、温泉入浴に伴う副作用の発現がみられることが予想される。温泉療法は温泉利用型健康増進施設にて施行する。温泉の「禁忌症」、「入浴又は飲用上の注意」及び「適応症」については昭和29年に厚生省、昭和57年に「禁忌症」等の改訂を環境省が行っている。詳細は環境庁ホームページの記載に従う。

<https://www.env.go.jp/nature/onsen/docs/kyokucho.pdf>

---

## 温泉の一般的禁忌症(浴用)

---

- 急性疾患(特に熱のある場合)
- 活動性の結核
- 悪性腫瘍
- 重い心臓病
- 呼吸不全
- 腎不全
- 出血性疾患
- 高度の貧血
- その他一般に病勢進行中の疾患
- 妊娠中(特に初期と末期)

本試験は温泉法の範囲内で行われる。入浴による溺水、ショック、低血圧、運動中の心血管疾患の発症、転倒による外傷骨折等の発症の可能性がある。本試験の実施により試験対象者に対して健康被害が生じた場合は、通常の診療と同様に健康保険を用いて温泉療養指示書を処方した医療機関または紹介先において責任を持って治療を行う。

## 11. 有害事象が発生した際の対応

重篤な有害事象の定義：

- 1) 死に至るもの
- 2) 生命を脅かすもの
- 3) 治療のための入院又は入院期間の延長が必要となるもの
- 4) 永続的又は顕著な障害・機能不全に陥るもの
- 5) 子孫に先天異常を来すもの
- 6) 上記1) 2) 3) のように、即座に生命を脅かしたり、死や入院には至らなくとも、被験者を重大な危機にさらしたり、上記1) ～5) のような結果に至らないための処置を必要としたもの。

### 11.1. 有害事象発生時の試験対象者への対応

有害事象を認めたときは、試験責任者または分担者は直ちに適切な処置を行うとともに、診療録等に記載する。また、温泉療法を中止した場合や、有害事象に対する治療が必要となった場合には、試験対象者にその旨を伝える。

### 11.2. 重篤な有害事象の報告

11.1. に該当する際の報告の手順は下記のとおりである。

- ①試験責任者等は、重篤な有害事象の発生を知った場合、別途定める「重篤な有害事象が発生した際に実施すべき事項に関する手順書」に従い、試験対象者等への説明等、必要な措置を講じるとともに、速やかに試験責任者に報告する。
- ②試験責任者は、重篤な有害事象の発生を知った場合、速やかに必要な措置を講じ、適切な対応を図るとともに、当該重篤な有害事象や研究の継続について研究倫理審査委員会に意見を聴いた上で、その旨を研究機関の長に報告する。また、速やかに当該試験の実施に携わる試験対象者等に対して、当該有害事象の発生に係る情報を共有する。
- ③試験責任者は、重篤な有害事象の発生を知った場合、速やかに当該試験を実施する共同試験機関の試験責任者と当該有害事象の発生に係る情報を共有する。

## 12. 試験対象者に対する健康被害発生時の対応と補償等

本試験で実施する治療法はいずれも現在の温泉法で適応が認められており、試験にかかる施設利用料の費用は所得税法第73条に規定される医療費控除の対象となる。これらの治療によって健康被害が生じた場合の特別な補償の制度はないが、病院で誠意をもって治療にあたる。治療費は保険を使用した場合の一般診療での対処に準じて行われる。

## 13 個々の試験対象者における中止基準と試験中止時等の対応

### 13.1. 個々の試験対象者における中止基準

試験責任者または試験分担者は、次に挙げる理由で本試験の継続が不可能と判断した場合、当該試験対象者についての試験を中止する。その際、必要に応じて中止の理由を試験対象者に説明する。また、中止後の試験対象者の治療については、試験対象者の不利益とならないよう、誠意を持って対応する。

- ・試験対象者から試験参加の辞退の申し出や同意の撤回があった場合。
- ・試験責任者または試験分担者が試験の中止が適当と判断した場合。
- ・副作用など好ましくない事象により中止とされた場合。
- ・試験計画全体が中止とされた場合。

### 13.2 試験の中止・中断、終了

研究倫理審査委員会が試験を中止するよう決定した場合、試験全体を中止する。

## 14 目標症例数とその設定根拠、及び統計解析方法

### 14.1. 目標症例数とその設定根拠

目標症例数 38 例

予定症例数の設定根拠：本試験の主要評価項目は、温泉療養指示書の実態を把握することであり、症例設定の根拠としては副次評価項目である温泉療法導入後の SF-36®の精神的健康の改善とする。

過去の研究（「高血圧の温泉療法プログラム」臨床第 II 相試験、Yamasaki et al. in submission）から SF-36®の精神的健康スコアの標準偏差を 10 点と推定し、臨床的に意味のある最小の差を 5 点と設定、1 群の前後で平均を比較、有意水準を両側 5%、検出力 80%で計算した結果、必要症例数は 34 例となった。脱落率を 10%と見込み、最終的な目標症例数を各群 38 例とした。

### 14.2. 統計解析方法

SF-36®について、経時的な推移を記述する。

統計解析は、R のグラフィカルユーザーインターフェイスである EZR（自治医科大学さいたま医療センター、埼玉県、<http://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmedEN.html>）[Kanda Y. Investigation of the freely available easy-to-use software 'EZR' for medical statistics. Bone Marrow Transplant. 2013; 48: 452-458.]を使用して行う。（The R Foundation for Statistical Computing、バージョン 4.2.2、[www.r-project.org](http://www.r-project.org)）および統計関数を追加するために設計された R コマンド어의修正バージョン（バージョン 2.8-0）。

## 15. 倫理的事項

### 15.1. 試験対象者に対する倫理的配慮

本試験に関与する全ての者は「ヘルシンキ宣言」（2013 年・第 64 回世界医師会フォルタレザ総会改訂版）及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号）に従う。

### 15.2. インフォームド・コンセント等の取得

本試験の開始にあたっては、試験対象者に対し、試験の内容等の説明事項について十分説明した上で、本試験への参加について、自由意思による同意を文書で得る。

## 16. 個人情報等の取扱い

本試験はプライバシーを保護するため、個人を容易に特定できる情報（氏名、住所など）を症例データとして取得せず、参加施設から試験代表医師/試験事務局及び統計解析担当者へは知らされない。登録患者の同定・照合は、登録時に発行される温泉療養指示書の匿名化データを用いて行われる。研究の結果が公表される場合にも研究対象者の身元のプライバシー保護に配慮する。

株式会社ネオマーケティングで電子化された温泉療養指示書に記入された情報が、プラットフォーム上に保存される。株式会社ネオマーケティングで取得された情報を匿名化し、聖マリア病院血液内科に提供する。情報収集は株式会社ネオマーケティングで開発された ASP 調査を使用する。

匿名 SF-36®は電子化された温泉療養指示書に入力後、同意取得後と 1 カ月後（最終効果判定）の 2 回分を聖マリア病院血液内科へ着払い封筒に入れて試験責任者または試験分担者が郵送する。各施設での対応表は不要である。

PC と記憶媒体（ハードディスク、USB メモリなど）に保存されたデータセットは暗号化し、パスワードを設定して第三者がファイルを利用できないようにする。データセット中には個人を容易に特定できる情報（氏名、住所など）は保存しない。個人情報管理者は山崎 聡とする。

## 17. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

情報については、試験終了後 10 年または論文発表後 5 年間のいずれか遅い日まで保管する。

## 18. 試料・情報の二次利用について

本試験で得られた情報を別の試験に二次利用する可能性について、試験対象者から文書同意を取得の上、改めてその試験計画を研究倫理審査委員会において承認を受けた上で利用する。

## 19. 研究機関の長への報告

- 1) 試験の倫理的妥当性・科学的合理性を損なう事実若しくは情報又は損なうおそれのある情報であって試験の継続に影響を与えると考えられるものを得た場合には、研究倫理審査委員会事務局に報告するとともに、遅滞なく研究機関の長に報告し、必要に応じて、試験を停止し、若しくは中止し、又は試験計画書を変更する。
- 2) 試験の実施の適正性若しくは試験結果の信頼を損なう事実若しくは情報又は損なうおそれのある情報を得た場合には、研究倫理審査委員会事務局に報告するとともに、速やかに研究機関の長に報告する。また、必要に応じて、試験を停止し、若しくは中止し、又は試験計画書を変更する。
- 3) 試験開始後 1 年毎の進捗状況、及び、終了時（停止もしくは中止、又は変更の場合を含む）には、研究倫理審査委員会事務局に報告するとともに、研究機関の長にその旨及び概要を報告する。
- 4) その他、試験実施に伴う重篤な有害事象が発生した場合には、当該状況について研究倫理審査委員会事務局に報告するとともに、研究機関の長に報告する（上記「11. 有害事象が発生した際の対応」項に当該内容を記載）。

## 20. 試験の品質管理・品質保証

### 20.1. データの収集およびデータマネジメント

本試験の開始に先立ち、データベースの作成からデータ固定までのデータの収集および管理方法に関する計画書を作成する。試験開始後は計画書に従い、データの収集および管理を実施する。

## 20.2. モニタリング

本研究ではモニタリングは施行しない。

## 20.3. 監査

本研究では監査は施行しない。

## 21. 試験対象者等及びその関係者からの相談等への対応

担当者：聖マリア病院 血液内科

山崎 聡

連絡先：〔TEL〕 0942-35-3322

〔FAX〕 0942-34-3115

E-mail：yamas009@gmail.com, sa-yamasaki@st-mary-med.or.jp

## 22. 個々の試験対象者における試験結果の取扱い

研究結果についての説明は行わない。

## 23. 試験成果の発表方法

学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定である。

## 24. 試験者等の利益相反に関する状況

本研究に関する利益相反はない。研究試験倫理審査委員会で承認された上で、本試験計画が実施される。

## 25. 特許権等の知的財産権について

本試験の成果に係る特許権等の知的財産権は、聖マリア病院に帰属する。

## 26. 試験の実施体制（統計解析、委託機関、モニタリング、監査等も含む）

### 26.1 試験代表者

聖マリア病院 血液内科

山崎 聡

電話：0942-35-3322

E-mail：yamas009@gmail.com, sa-yamasaki@st-mary-med.or.jp

データマネジメント実施機関： 聖マリア病院 血液内科

統計解析責任者： 聖マリア病院 血液内科 山崎 聡

### 26.2 試験参加施設・医師

一般社団法人 日本温泉気候物理医学会 温泉療法医・温泉療法専門医

**温泉療法医**：正しい温泉・気候・物理療養指導を行えるよう教育研修会全課程を修了し、日本温泉気候物理医学会入会年より3年を経て、認定を受けた医師を指します。

**温泉療法専門医**：温泉療法専門医は、療法医より上位の資格となります。温泉療法医認定より2年以上を経て（最短で学会会員歴5年以上）、専門医試験に合格した上で専門医取得条件を満たして認定を受けた医師を指します。

<https://www.onki.jp/doctor/about/>

詳細リストは、日本温泉気候物理医学会ホームページ内の以下で公開されております。

[https://www.onki.jp/doctor/doctor\\_intro/](https://www.onki.jp/doctor/doctor_intro/)

## 27. その他：試験に関する情報公開（ホームページ）

UMIN 臨床試験登録システム URL <https://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm> に本試験の概要（試験の称、目的、方法、実施体制、試験対象者の選定方針等）を公開する。試験の進捗に応じて適宜更新を行い、試験終了時には遅滞なく本試験の結果の公開を行う。

## 28. 参考資料・文献リスト

1. **Yamasaki S**, Tokunou T, Maeda T, Horiuchi T. Hot spring bathing is associated with a lower prevalence of hypertension among Japanese older adults: a cross-sectional study in Beppu. *Sci Rep.* 2022;12:19462.
2. **Yamasaki S**, Maeda T, Horiuchi T. Association between habitual hot spring bathing and depression in Japanese older adults: A retrospective study in Beppu. *Complementary Therapies in Medicine.* 2023;72:102909.
3. **Yamasaki S**, Tokunou T, Maeda T, Horiuchi T. Night-Time Hot Spring Bathing Is Associated with a Lower Systolic Blood Pressure among Japanese Older Adults: A Single-Institution Retrospective Cohort Study. *Geriatrics (Basel).* 2023;9(1):2.
4. **Yamasaki S**, Kashiwado Y, Maeda T, Horiuchi T. Night-time hot spring bathing is associated with improved blood pressure control: A mobile application and paper questionnaire study. *PLoS One.* 2024;19(11):e0299023.

## 研究統括・日本温泉気候物理医学会との連携

研究分担者 堀内 孝彦 福岡市立病院機構福岡市民病院病院長

### 研究要旨

本厚労科研の課題名は「温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究」であり、今回は3年計画の初年度の成果報告となる。初年度は、研究班全体の取り組みとして7疾患（高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満、変形性関節症、フレイル、高尿酸血症）について過去の論文をシステマティックレビューにより検証し、温泉療法による健康増進効果に関する最新のエビデンスを集積した。研究分担者の堀内は、日本温泉気候物理医学会理事長として、その結果を逐次、統括、整理して、学術集会、各種委員会等での成果発表、周知、共有を行い、研究班と学会の連携を進めた。学会員のフィードバックを得て、本研究の深化、精密化を進めている。

### A. 研究目的と背景

わが国に高齢化の波が押し寄せてきている。令和3年10月1日現在、わが国の総人口は1億2,550万人、65歳以上人口は、3,621万人、総人口に占める割合（高齢化率）は28.9%となっている（高齢化の現状と将来像 | 令和4年版高齢社会白書（全体版） - 内閣府 (cao.go.jp)）。令和18年には国民の3人に1人が高齢者となる。また高齢化と高額な医薬品の登場とが相まって国民医療費は増加を続けている。新型コロナパンデミック前の令和2年度の国民医療費は42兆9,665億円、国内総生産(GDP)の8.02%を占めるに至っている（令和2（2020）年度 国民医療費の概況 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)）。

高齢者は合併症が多く、とくに75歳以上の方々は多くの新薬の臨床試験で除外されてしまう。「根拠に基づく医療」(EBM)とそれに基づいた「診療ガイドライン」に馴染みにくい高齢者にとって、温泉医学の果たす役割はこれからますます大きくなると考えられる。高齢者への「優しい医療」、全世代に対する「予防医学」を展開することは温泉医学の一つの方向性である。

その一方で温泉の効能についてのエビデンス構築も忘れてはならない。温泉の効能の研究は、大規模なランダム化試験などのエビデンスレベルの高い研究が行いにくい。温泉医学のエビデンス構築において不利な側面を補う意味で、今回の研究は大きな意義がある。過去の論文を渉猟し、システマティックレビューを行い、エビデンスを検証することは、温泉医学の成果を統合し、社会に還元していくために大きな意義がある。

### B. 研究方法

#### 1. システマティックレビューの統括

高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満、変形性関節症、フレイル、高尿酸血症の7疾患について各分担研究者が過去の論文をレビューする。その結果を統括する。

#### 2. 学会との連携

統括した成果を、日本温泉気候物理医学会総会・学術集会での成果発表、学会の各種委員会での成果共有を行う。

#### 3. 成果の発信

学会誌などの学術誌、医師会誌などの公的ツールで成果発表を行う。また学会主催の市民公開講座で一般市民向けにも成果を発表する。

### C. 研究結果

本研究班の班員の多くは、日本温泉気候物理医学会の会員でもある。堀内は当学会の理事長として班研究全体を統括するとともに、学会との連携を深化させる役割を担っている。

#### 1. システマティックレビューの統括

現在、上記7疾患について過去の論文を渉猟し、温泉療法による健康増進効果についてレビューを進めている。令和7年5月24日～25日に横浜市で開催される第90回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会（会長：早坂信哉東京都市大学教授）にあわせて召集される班会議において、レビュー結果を分担研究者と共有、検証し、統括を行う。

#### 2. 学会との連携

##### 1) 学術集会

上記、第90回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会で、理事長講演「学会100周年に向けて～将来構想委員会提言を踏まえて～」を行う。その講演のなかで、温泉療法による健康増進作用について、研究班の初年度のシステマティックレビューによって得ら

れたエビデンスを発表する予定である。

## 2) 学会委員会

本研究班には、日本温泉気候物理医学会の学術委員会、編集委員会のメンバーの一部が参加している。各疾患に対する温泉の効果についてのエビデンスを各委員会でも共有し、研究班にフィードバックを行う。

さらに令和6年4月、本研究班の発足にあわせて新たに将来構想委員会を設置した。メンバーは理事以外の中堅、若手の会員より選抜されている。将来構想委員会委員長は本研究班の分担研究者でもある。

学会のさまざまな委員会を通じて、委員間で本研究班の成果を共有し、方向性についての助言を出し合い、研究班の活動に反映するとともに学会に成果を迅速に還元することが可能になった。

学会との連携を行うためには、委員会活動との連動は最も効果的であると思われる。理事長として今後も活性化に努める。

## 3. 成果の発信

### 1) 学術誌

別府市で行われた高血圧症と温泉入浴方法との関連についての研究成果を海外の雑誌に発表した。

### 2) 医師会誌

福岡市医師会の機関誌で超高齢社会と温泉医学をテーマに寄稿した。

### 3) 市民公開講座

令和6年12月14日～令和7年1月19日の約1か月間、日本温泉気候物理医学会（事務局：東京都中央区銀座）から一般市民を対象に温泉療法の効能に関する講演を無料でWEB配信した。本研究班の一部結果の紹介も含んだ内容であり、最新の研究成果を一般市民と共有した。

今回の市民公開講座の演題は4演題、田仲麻記子広報委員会委員「温泉と皮膚」、加藤光敏広報委員会委員「糖尿病患者さんの温泉療法：温泉地における食事を楽しむために」、早坂信哉広報委員会副委員長「温泉の効能について」、林敬人学術委員会委員長「入浴時警戒情報発令：市身近に潜む入浴の危険を避けるために」であった。

## D. 考察

過去の小規模観察研究やケースシリーズからエビデンスのGRADEが「D（とても弱い）」であっても治療方針の推奨は可能である。これらの推奨をもとに温泉療法のガイドライン作成は進めるべきである。また近年は、客

観的な検査データではなく患者の主観（Patient Reported Outcome: PRO）が治療効果の判定に重視されてきている。PROの改善は温泉療法のもっとも得意とするところである。

本研究班においては、過去の論文のシステムティックレビューを行って、循環器疾患・糖尿病等生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満、変形性関節症、フレイル、高尿酸血症）に関するエビデンスを構築し、その成果を温泉療養指示書の改訂に役立てる。その結果、厚労省指定の温泉利用型健康増進施設の利用を広げ、温泉の健康増進効果に基づいた国民の健康維持に資することができると思われる。

さらに今回の研究で蓄積できたエビデンスは、高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満、変形性関節症、フレイル、高尿酸血症についての温泉療養ガイドラインを作成する基盤となる。

## E. 結論

本研究班の大きな目的は、温泉療法が生活習慣病の改善にどのような効果があるかについて、過去の論文のシステムティックレビューを行い、エビデンスを集積し、その結果を温泉療養指示書の改訂に役立てることである。

これらの過程で、温泉医学の研究と実践に長い歴史をもつ日本温泉気候物理医学会との連携はきわめて重要である。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

Yamasaki S, Kashiwado Y, Maeda T, Horiuchi T.:

Night-time hot spring bathing is associated with improved blood pressure control: A mobile application and paper questionnaire study.

PLoS One 19(11): e0299023, 2024

堀内孝彦 :

序文.

リウマチ・膠原病治療薬処方ガイド一冊の基本からよくある疑問をこの一冊で（編集：堀内孝彦、有信洋二郎、木本泰孝）南江堂、東京、2024

堀内孝彦 :

超高齢社会と温泉医学

福岡市医報 5月号2025 掲載予定

## 2. 学会発表

堀内孝彦：

温泉の街、別府から発信する温泉医学  
第89回日本温泉気候物理医学会総会・学術集  
会2024年6月1日 白浜町

堀内孝彦：

学会100周年に向けて～将来構想委員会提言  
を踏まえて～  
第90回日本温泉気候物理医学会総会・学術集  
会  
2025年5月25日 横浜市

## G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
該当なし
2. 実用新案登録  
該当なし
3. その他  
該当なし



## 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

研究分担者 大村 浩一郎 神戸市立医療センター中央市民病院 膠原病・リウマチ内科部長

### 研究要旨

変形性関節症および痛風・高尿酸血症の温泉療法に関するランダム化比較試験を様々なデータベースを用いて取り寄せ、一次スクリーニングを行い、現在二次スクリーニング中である。

#### A. 研究目的

温泉療法による変形性関節症、痛風・高尿酸血症に対する治療効果に関する最新のエビデンスを整理する。利用者の安全な入浴方法などに配慮した、標準的なプログラム（温泉療養、温泉利用プログラム等）を開発する。

#### B. 研究方法

変形性関節症、痛風・高尿酸血症の温泉療法に関するランダム化比較試験（RCT）のエビデンスを様々なデータベース（MEDLINE, EMBASE, CENTRAL, Web of Science, 医中誌）から収集。論文タイトルとアブストラクトより一次スクリーニングを行い、さらに取り寄せた論文をもとに二次スクリーニングを行う。（倫理面への配慮）

本研究は現時点では文献検索による研究のみであり、患者個人情報扱わず、患者への健康被害も起こりえない。

#### C. 研究結果

変形性関節症の温泉療法に関連する論文485論文の中からタイトルとアブストラクトによる一次スクリーニングを行い、128論文を取り寄せし、これから二次スクリーニングを行う。スクリーニングの過程で、アウトカムを考慮すると変形性脊椎症は除き、手と膝、股関節は分けて解析するのが望ましいと考えられ、また介入も単なるプール治療は除くという方針とした。一方、痛風・高尿酸血症の温泉療法RCT論文22論文の中で二次スクリーニングに入るものはなかった。

#### D. 考察

変形性関節症には多くの温泉療法に対するエビデンスが存在することがわかったが、その介入方法は様々であり、アウトカムも様々であるため、メタ解析は困難であり、narati

veな結果解釈となりそうである。一方、痛風・高尿酸血症に関するエビデンスはほとんどないことが判明した。高尿酸血症はRCT以外のエビデンスを探す必要がある。

#### E. 結論

変形性関節症、痛風・高尿酸血症に関する温泉療法のエビデンス論文を収集し、現在、関連論文の二次スクリーニング中である。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし



## 医中誌Web用RCTフィルター開発の試行

### 研究要旨

日本の文献検索データベース向けに開発された検索フィルターはこれまでのところ存在しない。そこで、医中誌 Web 用に RCT 論文を識別する検索フィルターを開発・検証した。開発した RCT 検索フィルターを山崎班研究課題の検索に適用した。

研究協力者

遠藤泉

慶應義塾大学信濃町メディアセンター

### A. 研究目的

エビデンスに基づいたケアを実践する医療従事者、そして彼らを支援する図書館員やインフォメーションスペシャリストは、最良のエビデンスへ容易にアクセスできることを求めている。医療における意思決定は、しばしばシステマティックレビュー (SR) の結果に依存している。SR の検索では、研究課題に関する研究を網羅的・系統的に行う必要があり、検索結果が数百件から数千件にも及ぶことがある。主要なデータベースでは、統制語の索引によるタグ付けのように、研究参加者の年齢、ヒト (かそれ以外か)、研究の種類、言語、出版年などの要素で検索結果を絞り込む機能を提供している。しかしこのような機能を安易に適用すると、検索のパフォーマンスに影響がある。そこで、Cochrane Handbook では検証済み検索フィルターの使用を強く推奨している。ヒトを対象としたランダム化比較試験 (Randomized Controlled Trials: RCT) を検索する場合、適切な試験を特定するために有効なフィルターを使用する必要があると言及がある。検索フィルターを検索戦略に組み込むことで、SR 担当者が関連文献の検索やスクリーニングの過程を効率よく進めることができる。

検索フィルターとは、特定の基準 (研究デザイン、トピック、年齢層など。本研究では研究デザイン) を扱ったレコードを検索するために設計された検索用語の集合である。検索フィルターは、高感度 (特定された関連する記録の割合)、高精度 (関連する記録の割合)、またはその両方のバランスをとることに重点をおく。一般的に、臨床的判断のため、SR を実施するため、診療ガイドラインや技術

評価を行うために、医療介入に関する臨床試験を MEDLINE を始めとした文献検索データベースを使って検索する。検証された RCT フィルターは、海外のデータベース向けに複数開発されているが、日本のデータベース向けにはこれまでのところ利用できなかった。検証された RCT フィルターは、海外のデータベース向けに複数開発されているが、日本のデータベース向けにはこれまでのところ利用できなかった。本研究では、医中誌 Web で RCT 論文を識別する高感度な検索フィルターを開発し、検証を行った。

### B. 研究方法

検索フィルターの開発は通常、1. 検索語の選択、2. ゴールドスタンダードの特定、3. 評価、4. 検証の 4 ステップで行う。

本研究では RCT を収集したデータベースである CENTRAL (via Wiley) から言語が日本語の論文情報を検索した。特定されたレコードを医中誌 Web など\*で再検索し、221 件について日本語の論題および抄録情報を収集した。次に、CENTRAL 書誌のうち本研究で扱う RCT の条件を満たすかをスクリーニングし、131 件をゴールドスタンダードセットとして作成した。続いて、ゴールドスタンダードセットを「評価セット」65 件と「検証セット」66 件にランダムに分けた。また、ゴールドスタンダードの論文タイトル (日本語論文タイトル)、抄録、シソーラスを頻度分析、共起回数分析し、分析結果も参考に RCT 論文を取得するための検索語の候補を同定の上、「評価セット」を用いて作成したフィルターを評価しながら、フィルターを改定した。その後、検証セットを用いて、どの程度有効かフィルターの検証を行った。

### C. 研究結果

開発したフィルターを用いて評価セットでフィルターの評価・調整を行った。評価・調

整したフィルターを使用した検索では、評価セット65件中65件全ての文献が取得された。評価セットの感度は100%だった。続いて、検証セットで検証を行った。検証セット66件中65件の文献が取得された。検証セットの感度は98.5%だった。加えて、このフィルターを使用し、医中誌Web全体で検索すると、99,348件になり、これはRD=ランダム化比較試験だけで検索（医中誌、RD=ランダム化比較試験は26,836件。2024年7月2日検索時点）した場合の約3.7倍あった。

#### D. 考察

開発したフィルターで未取得だったレコードを確認したところ、医中誌Webでは海外のデータベースのようにシソーラスを指定した検索戦略ではヒトを対象とした文献を取得できないことがわかった。これは、医中誌Webがヒトを対象とした研究論文にシソーラスではなく、チェックタグを使用して情報を付与しているためである。この点を考慮して、フィルターを修正した。フィルターで取得された文献検索にはpre医中誌のデータも含まれ、研究デザインタグが索引される前の文献も取得できることを確認した。また、医中誌Webの定義（索引方針）とは異なるRCTの可能性のある文献も取得していた。

一方で、本研究で使用したゴールドスタンダードセットの規模が小さいため、検索フィルタには改善の余地があり、フィルタの有効性を判断するためには、エンドユーザーの検索結果に対する評価と影響調査が不可欠である。

#### E. 結論

最終組み入れとなった131件をもとに医中誌Webに索引されている文献情報から、医中誌Webの索引データから研究デザインがRCTに関連する可能性がある研究をフィルタリングする検索フィルターを考案した。ゴールドスタンダードセットの規模は小さいが、感度は高い結果となった。本研究で開発した検索フィルターを用いることで、関連する可能性のあるRCT論文を効率的に取得できる。本研究は、日本のデータベース向けとして医中誌WebでRCTの可能性のある文献を取得する際、利用できるRCTフィルターを報告した初の試みである。

本研究で開発した医中誌Web用RCTフィルターを山崎班の研究課題の検索時にも使用し、系統的なRCT論文の取得に活用した。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

1) 眞喜志まり, 遠藤泉, 医中誌Web用RCTフィルター開発の試行. 第39回医学情報サービス研究大会, 名古屋市立大学桜山キャンパス, 名古屋, 2024年

2) Mari Makishi, Izumi Endo, A highly sensitive search filter for the retrieval of randomized controlled trials using Ichushi-Web. searchRxiv. 2025. 00863, searchRxiv, doi:10.1079/searchRxiv.2025.00863, CABI, (2025)

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

##### 1. 特許取得

該当なし

##### 2. 実用新案登録

該当なし

##### 3. その他

特になし

#### I. 参考文献

1) Glanville J, Bayliss S, Booth A, Dundar Y, Fernandes H, Fleeman ND, et al. So many filters, so little time: the development of a search filter appraisal checklist. J Med Libr Assoc. 2008;96(4):356-61. doi: 10.3163/1536-5050.96.4.011. PubMed PMID: 18974813; PubMed Central PMCID: PMC2568852.

2) Jenkins M. Evaluation of methodological search filters—a review. Health Info Libr J. 2004;21(3):148-63. doi: 10.1111/j.1471-1842.2004.00511.x. PubMed PMID: 15318913.

3) Lefebvre C, Glanville J, Briscoe S, Featherstone R, Littlewood A, Metzendorf M-I, Noel-Storr A, Paynter R, Rader T, Thomas J, Wieland LS. 4.4.7 Search filters. [last updated March 2025]. In: Higgins JPT, Thomas J, Chandler J,

Cumpston M, Li T, Page MJ, Welch VA (editors). Cochrane Handbook for Systematic Reviews of Interventions version 6.5.1 Cochrane, 2025. Available from <https://training.cochrane.org/handbook/current/chapter-04#section-4-4-7>.

#### J. 注記

\* 2018-2024年の書誌で日本語のタイトル・抄録が逆引き可能な研究。ゴールドスタンダードセットが100件以上になるようにNNR(ここでは検証に必要な文献数という意図で使用)を設定

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
堀内孝彦	はじめに	堀内孝彦、有信洋二郎、木本泰孝	リウマチ・膠原病治療薬処方ガイド	南江堂	東京都	2024	v-vi

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamasaki S, Kashiwado Y, Maeda T, Horiuchi T.	Night-time hot spring bathing is associated with improved blood pressure control: A mobile application and paper questionnaire study	PLoS One	19(11)	e0299023	2024
堀内孝彦	超高齢化社会と温泉医学	福岡市医報	66巻3号	掲載予定	2025
松元秀次	入浴と水治療の科学—基礎医学から介護まで：神経・筋疾患に対する温水浴のリハビリテーション治療への応用	MB Med Rehabil	No. 312	32-39	2025
松元秀次	伝統ある物理療法・物理刺激の最新のエビデンス：リハビリテーション医療と温泉療法up to date	Jpn J Rehabil Med	62	100-106	2025
Ishimoto R, Mutsumaki H, Shimizu Y, Takeuchi R, Matsumoto S, Hada Y	Association Between Sarcopenic Obesity and Activities of Daily Living in Individuals with Spinal Cord Injury	J Clin Med	13(23)	7071.	2024
Matsumoto S, Ohama R, Hoen T, Tojo R, Nakamura T.	Treatment of Depression-Related Circadian Rhythm Sleep-Wake Disorder (CRSWD) With Melatonin Receptor Agonist Ramelteon: A Case Report	Cureus	16(8)	e68311	2024

Ishimoto R, Mut suzaki H, Shimizu Y, Takeuchi R, Matsumoto S, Hada Y.	Association between Sarcopenia and Balance in Patients Undergoing Inpatient Rehabilitation after Hip Fractures: A Retrospective Cohort Study	Medicina (Kaunas)	60(5)	742	2024
Matsumoto S, Ohama R, Hoen T, Tojo R, Nakamura T.	Understanding Antithrombotic Agents for Rehabilitation Therapy: A Comprehensive Narrative Review	Cureus	16(4)	e58302.	2024
Ohama R, Matsumoto S, Ohama Y, Yokoyama K, Shimodozono M.	A new method for detecting unilateral spatial neglect with tracing tasks using the Rey-Osterrieth complex figure: a pilot study	Neurol Sci	45(10)	4789-4798	2024
Ishimoto R, Mut suzaki H, Shimizu Y, Yoshikawa K, Koseki K, Takeuchi R, Matsumoto S, Hada Y.	Association between Obesity and Short-Term Patient-Reported Outcomes following Total Knee Arthroplasty: A Retrospective Cohort Study in Japan	J Clin Med	13(5)	1291	2024
前田豊樹	Health Effects of Hot Springs as Seen from Epidemiological Studies	J. Baoneol. Climatol. Phys. Med	88(1)	16	2025

令和 7年 4月 7日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 社会医療法人雪の聖母会  
聖マリア病院

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 井手 義雄

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 血液内科・主任医長  
(氏名・フリガナ) 山崎 聡 ・ ヤマサキ サトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会医療法人雪の聖母会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年4月4日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立大学法人鹿児島大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 井戸 章雄

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授

(氏名・フリガナ) 林 敬人・ハヤシ タカヒト

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年 5月16日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 地方独立行政法人福岡市立病院機構  
福岡市民病院

所属研究機関長 職名 院長

氏名 堀内 孝彦

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
- 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長  
(氏名・フリガナ) 堀内 孝彦 (ホリウチ タカヒコ)

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和7年4月1日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
—(国立保健医療科学院長) —

機関名 同志社大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 小原 克博

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) スポーツ健康科学部・教授

(氏名・フリガナ) 北條 達也 (ホウジョウ タツヤ)

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 大分三愛会 介護老人保健施設たばる

所属研究機関長 職 名 施設長

氏 名 前田 豊樹

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 社会法人 三愛会 介護老人保健施設 たばる

(氏名・フリガナ) 前田 豊樹 (マエダ トヨキ)

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称： )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 所属機関が研究機関ではなく、該当の場合研究責任者所属施設にて行われるため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: 同上)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 同上)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: 同上)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
—(国立保健医療科学院長) —

機関名 茨城県立医療大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 阿部 慎司

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医科学センター 教授

(氏名・フリガナ) 松元 秀次 (マツモト シュウジ)

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) 文献レビューのみを行うためいずれにも該当しない。

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025年4月17日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 地方独立行政法人神戸市民病院機構  
神戸市立医療センター 中央市民病院

所属研究機関長 職 名 病院長

氏 名 木原 康樹

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 膠原病・リウマチ内科・部長  
(氏名・フリガナ) 大村 浩一郎 (オオムラ コウイチロウ)

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 当院審査基準に該当せず )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 広島赤十字・原爆病院

所属研究機関長 職名 院長

氏名 古川 善也

次の職員の(令和)6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) リウマチ科・医師

(氏名・フリガナ) 柏戸 佑介・カシワド ユウスケ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: 委員会を設置されていないため代表者所属機関に委託 )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 利益相反はなく審査は不要のため )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2025 年 4 月 2 日

厚生労働大臣  
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿  
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 医療法人財団 医道会  
十條武田リハビリテーション病院  
所属研究機関長 職名 院長  
氏名 河野 茂

次の職員の（令和）6年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 十條武田リハビリテーション病院 リウマチ科 部長  
(氏名・フリガナ) 益田 郁子 (マスタ イクコ)

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 伊藤 公平

次の職員の令和6年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

2. 研究課題名 温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・特任助教

(氏名・フリガナ) 眞喜志 まり・マキシ マリ

#### 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

#### その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

#### 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

#### 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。